

# 工事説明書

## コンビネーションレンジタイプ

型式名 GMO-S3700E・GMO-S3720E

## ガス高速オーブンタイプ

型式名 GR-S3700E

M・V対応型

出荷高さ  
630mm  
580mm 用  
490mm

■工事される方へのお願い…この「工事説明書」を設置工事前に必ずお読みください。

○設置工事が終わりましたら「設置工事後の点検確認」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

### 設置工事後の点検確認

#### ●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ガス種・電源	銘板は使用するガス種・電源と適合していますか。	3
	同 こん 部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	5
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離・火災予防の措置は十分ですか。	3
	設置条件	障害物等との離隔距離は十分ですか。	3・4
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4
	水平設置	水平に設置されていますか。	4
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはありませんか。	4
機器高さ	高さの微調整によるコンロとのスキ間は適切ですか。	11	
給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
ガス配管・電気工事	接続は正しく施工され、ガス漏れ等がありませんか。	13~16	
ラベル貼付	接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付しましたか。	13・14	
その他	オープン庫内に同こん物が残っていませんか。		

### 試 運 転

1. 取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後また、長期間使用しないときはガス栓を閉じてください。  
また専用ブレーカーの場合はブレーカーを切ってください。  
※ ブレーカーを切る場合は本機器専用ブレーカーであることを確認ください。

### お客様への取扱説明

1. 取扱説明書によって、機器の取り扱いを説明してください。
2. 保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ししてください。

## 安全に正しく使用していただくために

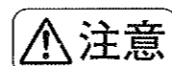
☆ここに示した注意事項は機器を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者および機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った工事により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。



警告

作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後の製品の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 設置工事をされる方へ

### 警告

- この『工事説明書』に従い、有資格者による正しい工事を行う。
- 建築基準法、各都市の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従う。
- 設置工事完了後は「設置工事後の点検確認」のチェックリストに基づいて、必ず点検する。

感電・火災・ガス漏れなど、思いがけない事故の原因になります。

- 設置工事完了後は別添『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。

誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

この機器は、必ず当社指定のビルトインコンロと接続してください。もしオープン単独で使用されますと、ビルトインコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によりキャビネットが損傷等の思いがけない事故の原因となります。

○試運転終了後、保証書に必要事項を記入のうえ、この『工事説明書』とともに、お客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

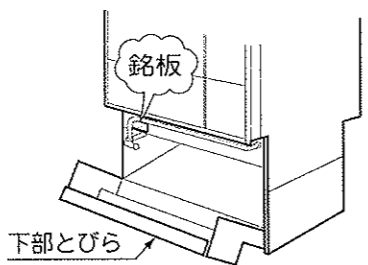


⚠ 注意

# 1 設置前の注意

## ① 機器の確認

- 機器の下部とびらをあげ、本体正面左下部に貼ってある銘板に表示しているガス種と使用するガス(ガスグループ)の種類が適合していることを確認してください。



- 機器の下部とびら内部に貼ってある銘板に表示している電源(電圧・周波数)と使用する電源とが適合していることを確認してください。周波数は50Hz-60Hz共通仕様になっています。

## ② 配管等の確認

- ガス栓が、機器設置後でも手前側から開閉できることを確認してください。

## ③ 設置工事後の点検項目の確認

- まず (設置工事後の点検確認) を理解してから次へ進んでください。

「ガスの確認」

型式名	〇〇ガス用	
ガスグループ	ガス消費量	
製造年月	製造番号	製造事業者名
---	---	---

「電源の確認」

製造事業者の略号	
定格電圧	100V
定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	△△△△W
定格高周波出力	600W
ガス高速オープンの消費電力	
コンビネーションタイプ	

「電源の確認」

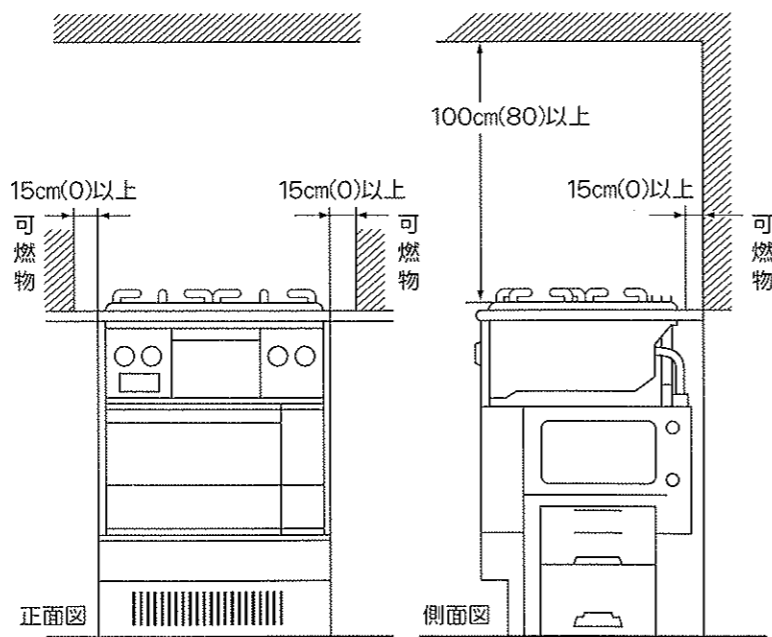
定格電圧	100V
定格消費電力	△△W
定格周波数	50-60Hz
ガス高速オープンタイプ	

# 2 設置場所の確認

- 設置工事を始める前に、次のことを確認してください。

## ① 火災予防上について

- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 火災予防条例に準じ、トッププレートより上の側面及び背面は、木製のような可燃物から15cm以上離して設置してください。また上部に可燃物(吊り棚等)がある場合は、トッププレート上面と可燃物の間に100cm以上の空間を設けてください。
- ビルトインコンロ側の工事説明書もよく読んで離隔距離を参照してください。



※( )は、防熱板や不燃性の壁を取り付けた場合の寸法。

⚠ 注意

- 本体の一部が家屋の壁中のラスに触れたり、水切りカバー・壁の防熱板に接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電氣的に接触しないようにしてください。(電気設備技術基準167条により義務づけられています)

## ② 給排気について

- 換気(給気、排気)が十分できる設備(換気扇、換気口など)があるところに設置してください。

## ③ 設置場所の周囲について

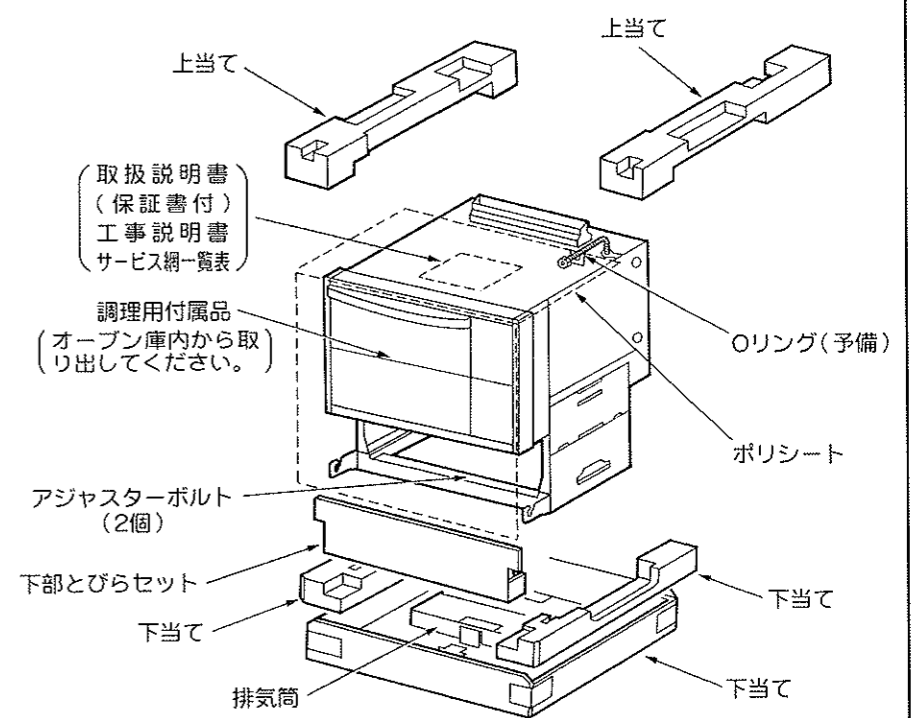
- テレビやラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ・ラジオなどを3m以上離してください。
- 棚の下など落下物の危険のあるところ、および樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。

## ④ 設置場所のふん囲気について

- 水のかかる場所は部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますのでさけてください。
  - 丈夫で水平な場所に設置してください。
- ※ 設置場所の詳細は、ビルトインコンロ側の工事説明書も参照してください。

# 3 開こん

- 本体段ボールを開けると図の通り梱包されています。
- 上当て・下当てなどの緩衝材をすべて取り除き、オープン庫内から付属品を取り出してください。
- 下部とびらセットと排気筒は、機器本体とは別になっています。緩衝用の段ボールを取り除いてください。

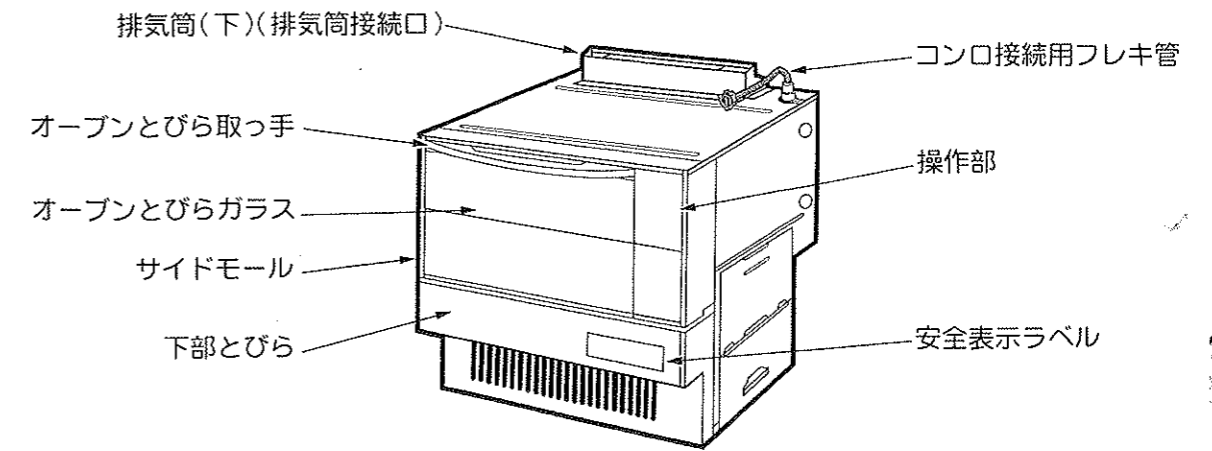


## 4 同こん部品の確認

設置工事を始める前に、同こん部品の種類と数をご確認ください。○印は同こんしています  
×印は同こんしていません

部品名	形状	個数	コンビネーションレンジタイプ	ガス高速オープンタイプ
			GMO-S3700E・GMO-S3720E	GR-S3700E
オープン庫内の付属品箱	オープン皿 (角皿)	2	○	○
	ターンテーブル (丸皿)	1	○	×
	ターンテーブル台	1	○	×
	角網	1	○	○
	解凍網	1	○	×
	オープン皿取っ手 クッキングブック	1 1	○	○
部品箱およびその他	取扱説明書 (保証書付)	1	○	○
	工事説明書	1	○	○
	サービス網一覧表	1	○	○
	アジャスターボルト	2	○	○
	リング (予備用)	1	○	○
	排気筒	1	○	○
	下部とびらセット	1	○	○

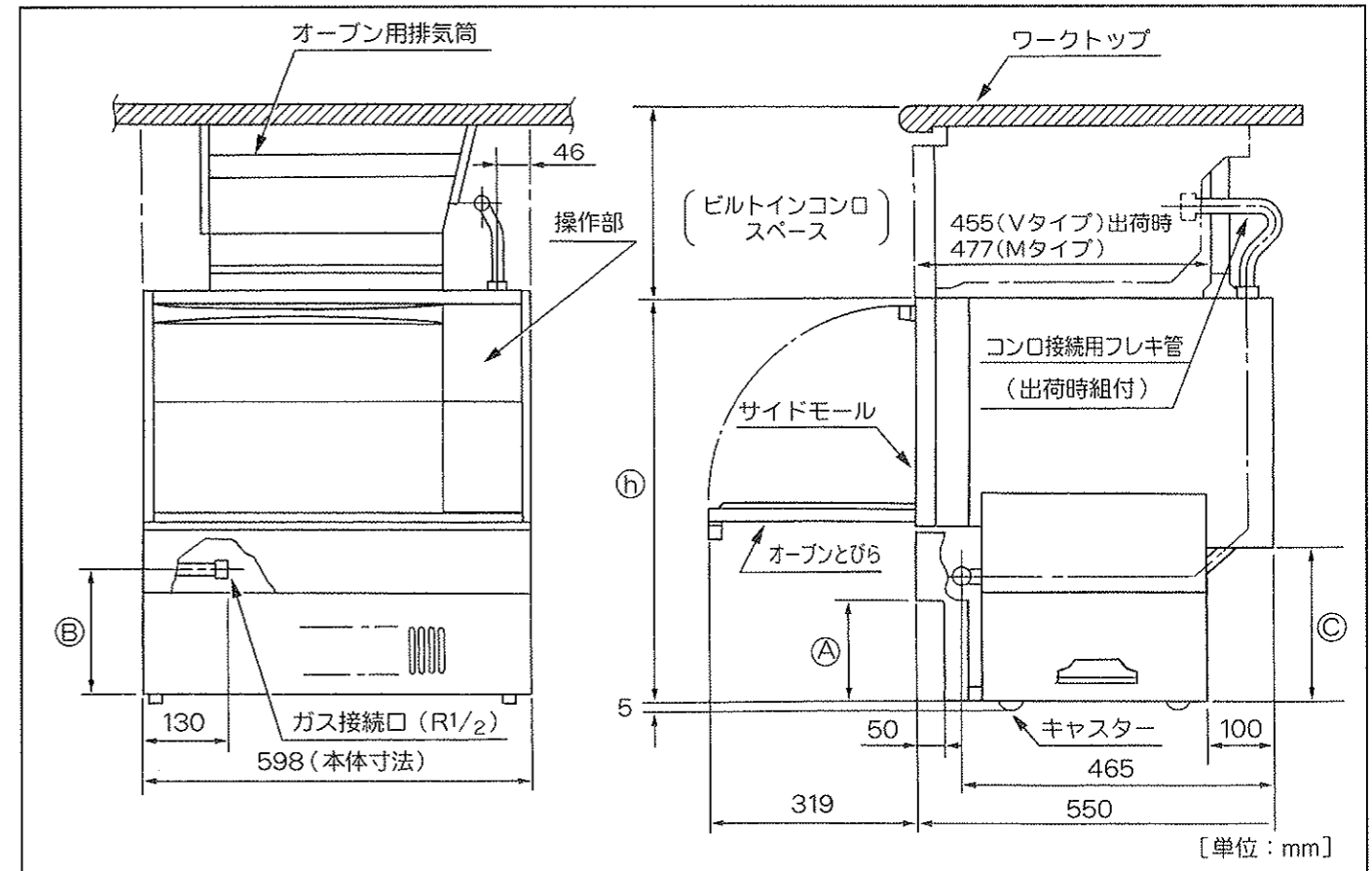
## 5 各部のなまえ



※オープン部の詳細な名称とはたらきについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

## 6 機器の設置

### ■設置寸法図



[単位: mm]

- 機器高さ (h) 寸法は、出荷高さ630・580mm用は530～640mmの範囲で12段階、出荷高さ490mm用は480～540mmの範囲で7段階に調節できます。この場合の(A)・(B)・(C)の各寸法は下表の通りです。

<630・580mm用>

単位：mm

機器高さ (h)	ケコミ高さ (A)	配管高さ (B)	後部スペース (C)
640	170	203	252
630	160	193	242
620	150	183	232
610	140	173	222
600	130	163	212
590	120	153	202
580	110	143	192
570	100	133	182
560	90	123	172
550	80	113	162
540	70	103	152
530	60	93	142

<490mm用>

単位：mm

機器高さ (h)	ケコミ高さ (A)	配管高さ (B)	後部スペース (C)
540	120	103	152
530	110	93	142
520	100	83	132
510	90	73	122
500	80	63	112
490	70	53	102
480	60	43	92

※機器高さ (h) は、キャスター寸法5mm含まず

## ■機器の設置の準備作業

### 作業手順

#### ① 前後にある補強板を取り外す

(出荷高さ630mm・580mm)

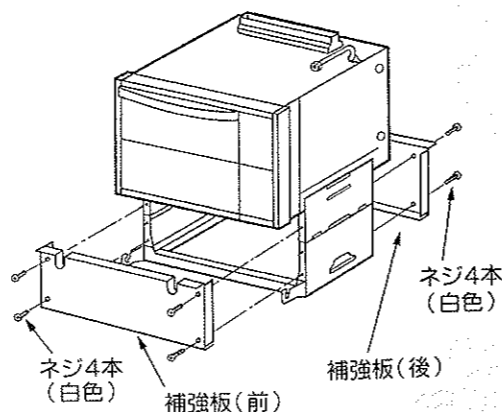
- 梱包から機器を取り出し、機器前面4本(白色)後面4本(白色)のネジで固定している補強板(前)(後)を取り外してください。

(補強板(前)(後)は輸送時の補強部品で設置後は不要です。)

※490mタイプにはありません。

- 取り外したネジ(2本)は①機器高さ(h)の調節で使いますので保管してください。

### 説明図



### 作業手順

### 説明図

#### ② 機器高さ(h)の確認

- ワークトップ高さ(H)とビルトインコンロ高さ(L)を確認してください。
- 機器を(h)の高さ(H-L)に調節してください。

[単位：mm]

出荷高さ  
<630・580mm用>

出荷高さ	ビルトインコンロ L=220の場合		※ビルトインコンロ L=270の場合	
	ワークトップ高さ H	機器高さ (h)	ワークトップ高さ H	機器高さ (h)
630mm時	860	640	910	640
	850	630	900	630
	840	620	890	620
	830	610	880	610
580mm時	820	600	870	600
	810	590	860	590
	800	580	850	580
	790	570	840	570
	780	560	830	560
	770	550	820	550
	760	540	810	540
750	530	800	530	

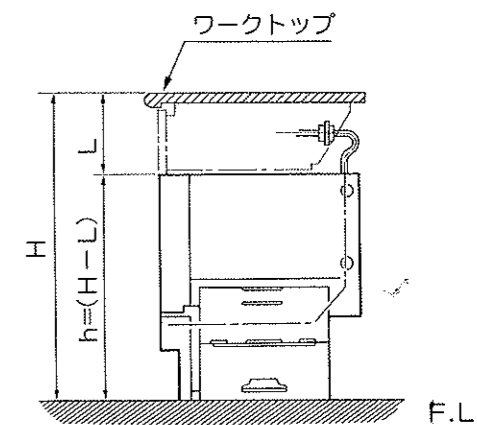
↑ ↓  
キャスター収納時の寸法

出荷高さ  
<490mm用>

出荷高さ	ビルトインコンロ L=220の場合		※ビルトインコンロ L=270の場合	
	ワークトップ高さ H	機器高さ (h)	ワークトップ高さ H	機器高さ (h)
490mm時	700	480	750	480
	710	490	760	490
	720	500	770	500
	730	510	780	510
	740	520	790	520
	750	530	800	530
	760	540	810	540

↑ ↓  
キャスター収納時の寸法

※ビルトインコンロが L=270mmのときは、別売の排気筒スペーサーが必要です。



■機器の設置

作業手順

**① 機器高さ(h)の調節**

[ご注意]  
機器を倒したり、立てたりする場合、床面等に傷をつけないよう注意してください。  
(養成シートや古毛布などを使用してください。)

**出荷高さ630mm、580mm用**

- 機器をうしろ向きに倒して、Aのネジ4本(黒色、両側面・各2本)を調節したい位置に付けかえて固定してください。
- 台枠部の刻印は、機器高さ(h)寸法を表示しています。

**⑤ 機器の据え付け** 後、キャスターを収納すると機器高さ(h)となります。

- 固定がすんだら機器を元どおり立ててください。

**出荷高さ490mm用**

- 機器前面の台枠固定ネジ2本(白色)、機器後面の台枠固定ネジ2本(白色)、機器両側面の台枠固定ネジ4本(白色)を取り外してください。  
(高さ調節後は不要です)
- 機器をうしろ向きに倒して、Aのネジ4本(黒色、両側面・各2本)を調節したい位置に付けかえて固定してください。

**⑤ 機器の据え付け** 後、キャスターを収納すると機器高さ(h)となります。

- 固定がすんだら機器を元どおり立ててください。

出荷高さ490mm用の機器高さ(h)と台枠の刻印の関係は下表の通りです。

機器高さ(h)	刻印番号
480	530
出荷時 → 490	
500	
510	
520	
530	580
540	

説明図

出荷高さ630mm用、580mm用

出荷高さ490mm用

出荷時固定位置

作業手順

**① 前後にある補強板を取り外す**で取り外したネジ(2本)は、本体機器前面の穴の合った所で固定してください。

**② 排気筒(下)固定位置の確認または、調節**

※本機器は、排気筒(下)の固定位置を変えることによって設置寸法を変えることができます。  
※本機器仕様で上部ビルトインコンロタイプ、またはワークトップ穴開け寸法に合わない場合は、排気筒(下)の固定位置を変えて設置してください。  
※コンロ部のタイプ及び設置寸法については、ビルトインコンロ側の工事説明書をご覧ください。

[固定位置の確認]

コンロ部のタイプ	ワークトップ穴開け寸法	排気筒(下)固定位置(刻印)
設置フリータイプ	A+37~(A+45)~A+59	V(37) (45)
Vタイプ	A+37	
Mタイプ	A+59	M(59)

[固定位置の変更]

- 排気筒(下)固定ビスを少しゆるめてください。(左右、2本)
- 排気筒(下)を上記の刻印の位置に突起部を合わせてください。
- 固定ビスを再度締めて排気筒(下)を固定してください。

[ご注意]  
固定位置は、上記のどちらかの位置にしてください。途中の位置では固定しないでください。

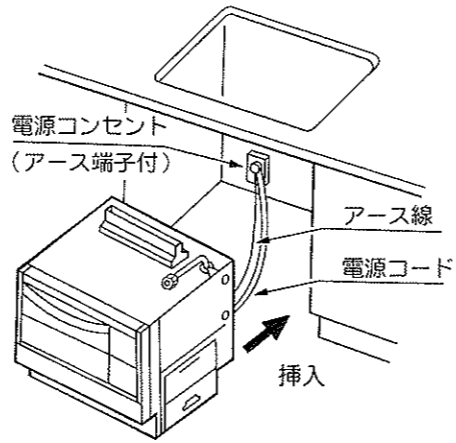
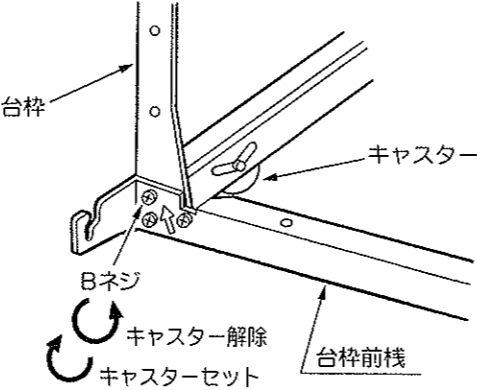
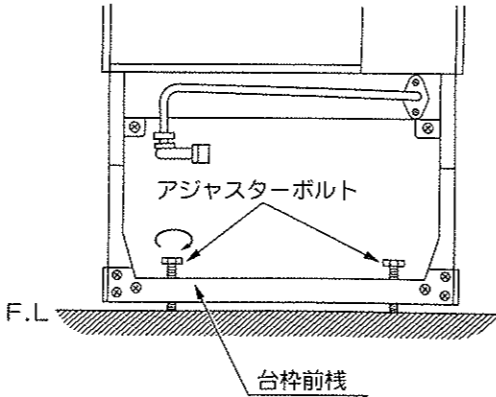
**③ コンロ接続用フレキ管の調節**

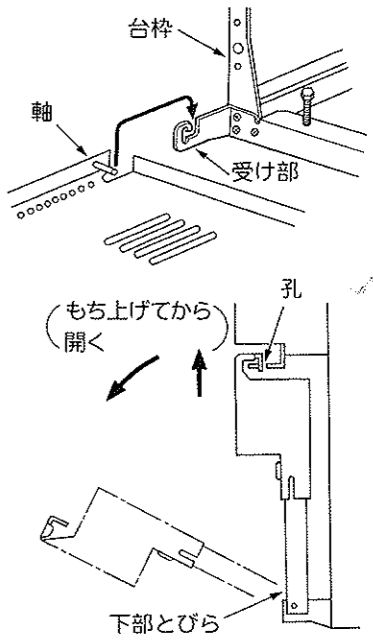
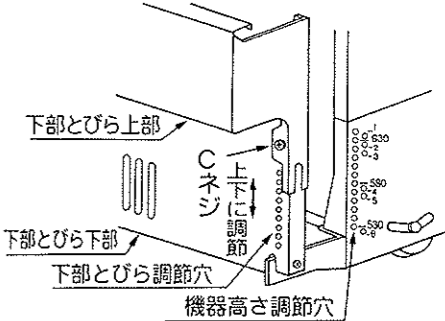
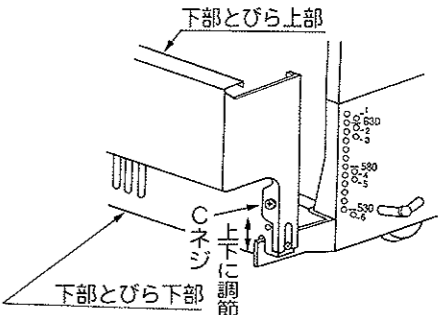
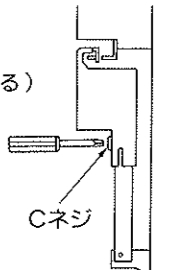
- ビルトインコンロの高さが220mmの場合と※270mmの場合があります。
- 機器に組付しているコンロ接続用フレキ管を右図のようにあらかじめ曲げておいてください。

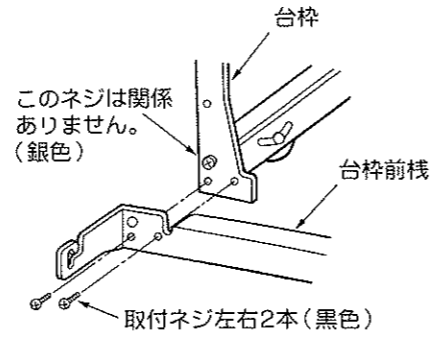
※ビルトインコンロの高さが270mmのときは、別売の排気筒スペーサーが必要です。

説明図

[単位: mm]

作業手順	説明図
<p><b>④ 機器の挿入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コード・アース線を電源コンセントに接続して床面にはわしてください。</li> <li>● 機器をキャスターでスライドしてカウンター内に挿入してください。</li> </ul> <p>[ご注意] 機器を設置するときは、床面等に傷をつけないよう注意してください。</p>	
<p><b>⑤ 機器の据え付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● キャビネットのとびら前面と機器のサイドモールド前面とのツラを合わせてください。</li> <li>● 据え付け後Bのネジ(左)(右)各1本(銀色・前面両サイドの矢印部)を左方向へ回転してキャスターを台枠内に収納してください。約5mmほど機器が下がり移動を防止します。</li> </ul> <p>[ご注意] 機器をひき出す場合は、Bのネジ(左)(右)各1本を右へ回転すると再びキャスターが出てきます。</p>	
<p><b>⑥ ビルトインコンロとの接続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビルトインコンロを設置した後、機器のコンロ接続用フレキ管を利用して、ビルトインコンロとの接続を行ってください。詳細についてはビルトインコンロ側の工事説明書を参照してください。</li> </ul>	
<p><b>⑦ 機器の移動防止及び高さの微調節</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビルトインコンロと接続した後、機器の移動防止及び高さの微調節を行ってください。</li> <li>● 同梱のアジャスターボルト2本を台枠前棧に取り付け、締め込むことにより調節できます。</li> </ul> <p>[ご注意] ビルトインコンロと機器のスキ間は、5mm程度までとし、ビルトインコンロが浮き上がらないよう注意してください。</p>	

作業手順	説明図
<p><b>⑧ 下部とびらの取り付け及び高さ調節</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下部とびらは、機器高さ(h) = 630mm用、580mm用、490mm用にセットしています。</li> <li>● 下部とびらの軸を台枠の受け部へはめ込んでください。</li> <li>● 下部とびらを開閉して、上部の孔部にはめ込みが確実に確認してください。</li> <li>● 下部とびらのはめ込みが合わない場合は、Cのネジ(左)(右)各1本(黒色)を少しゆるめて下部とびらをはめ込んでから再度ネジを締め付けてください。 (取付け穴が長穴になっていますのである程度微調節できます。)</li> <li>● ワークトップ高さによって機器高さ(h)を変えた場合は、Cのネジ(左)(右)各1本(黒色)を取り外し、下部とびら上、下を機器高さに合う位置に付けかえてください。</li> <li>● 下部とびらの高さ調節位置は、台枠部の機器高さ(h)調整用の穴位置と同じ関係(ピッチ10mm)になっていますので穴位置をずらした分だけ、下部とびらの調節穴をずらして取り付けてください。</li> </ul>	 <p>出荷高さ630mm用、580mm用</p> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下部とびら上、下を取り付ける場合は、Cのネジをゆるめに取り付けて、下部とびらをはめ込んでから再度ネジを締め付けてください。</li> </ul> <p>[ご注意] ・下部とびらの開閉が確実に確認してください。</p>	<p>出荷高さ490mm用</p>   <p>(締めつける)</p>

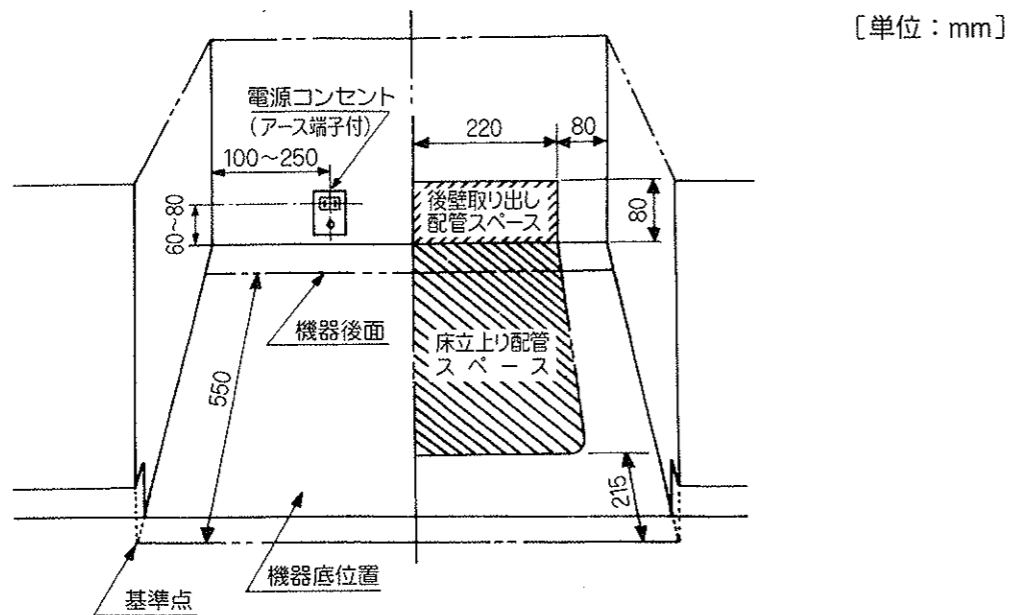
作業手順	説明図
<p>⑨ ガス接続するにあたって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス接続作業がしにくい場合は、前面下部の台枠前棧を取り外して作業を行ってください。(ネジ左右各2本・黒色)</li> <li>● 接続完了後は再び台枠前棧を取り付けてください。</li> </ul> <p>[ご注意] 機器の移動防止のためにアジャスターボルトは必ず締め付けてください。</p>	

## 7 ガス配管・電気工事

### ■ガス配管工事

#### ① ガス事業者・ガス可とう管接続工事監督者の方へ

- ガス栓は、⑤ 標準配管施工例に従って取り付けてください。
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定の事項を記入し、金属可とう管に貼り付けてください。



ガス配管・電源コンセント取り出し位置図

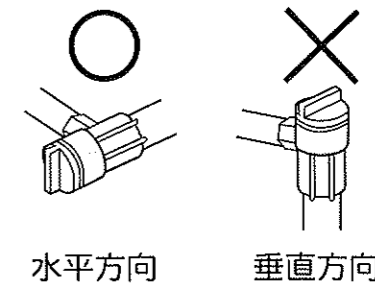
#### ② ガス栓

- 機器を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置、口径)場合は、新設または交換する必要があります。

#### ③ ガス接続

- ガス接続部はR1/2 オネジになっています。必ず金属可とう管にてガス接続してください。

- ガス栓(中間コック)はL型可とう管コックを使用してください。
- 中間コックのつまみは、必ず配管に対し水平方向になるように施工してください。万一、配管に対し垂直方向に施工したときはメンテナンス時に修理できない場合があります。
- 接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。



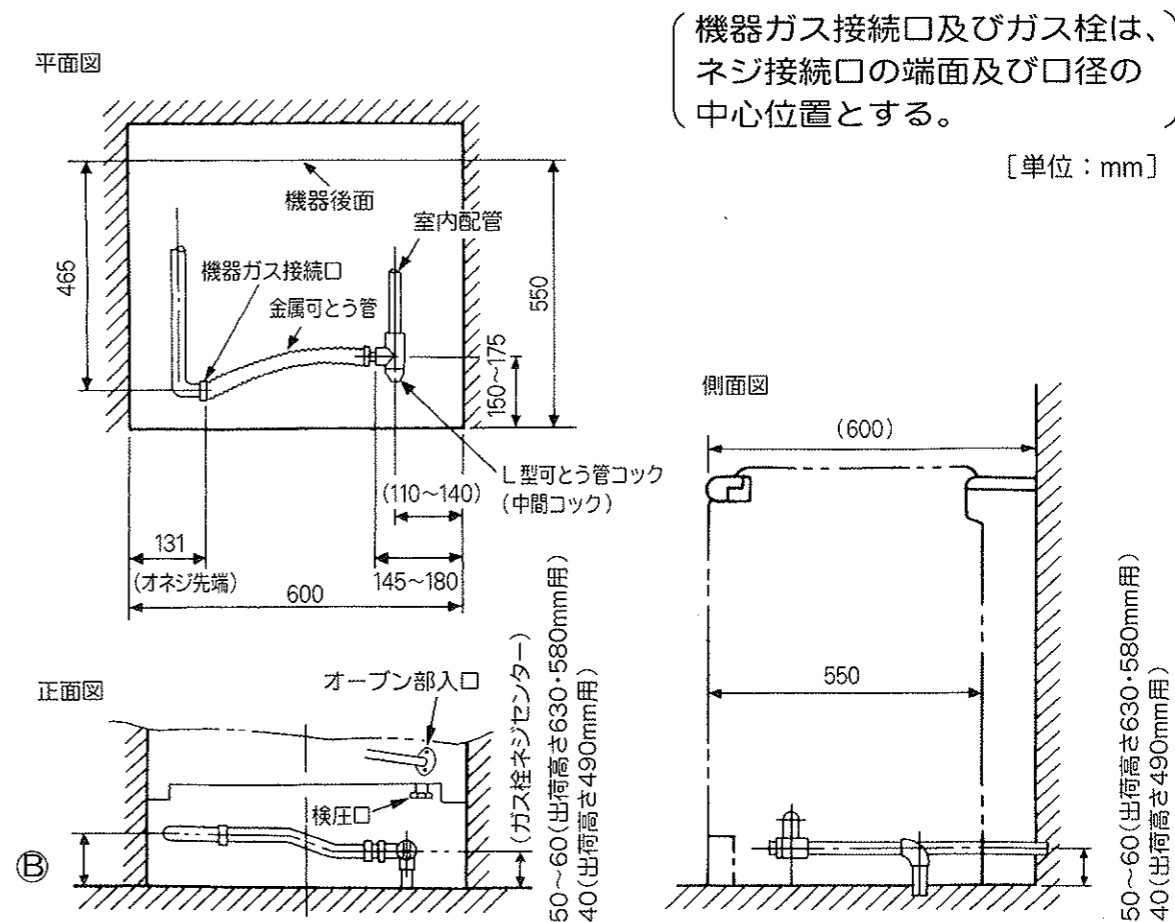
#### ④ ガス金属可とう管接続工事方法

- 配管位置は、下記寸法図を参照のこと。
- 機器を据え付けて室内配管と機器ガス接続口を金属可とう管で接続する。
- ガス漏れを確認する。  
検圧口はオープン入り口部の近くにあります。(機器前面右側下部)
- 施工者ラベルに所定事項を記入し、金属可とう管に貼付すること。

[ご注意]

- 検圧口を確実にふさいでガスを通し、検圧口のガス漏れを確認すること。

#### ⑤ 標準配管施工例



※②寸法はh寸法(機器高さ)により異なります。つぎの表を参考にして工事をしてください。

出荷高さ630mm用、580mm用

出荷高さ490mm

機器高さ (h)	Ⓑ
640	203
630	193
620	183
610	173
600	163
590	153
580	143
570	133
560	123
550	113
540	103
530	93

機器高さ (h)	Ⓑ
540	103
530	93
520	83
510	73
500	63
490	53
480	43

[単位：mm]

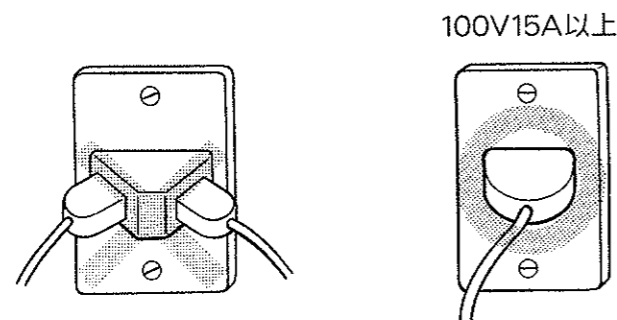
■電気工事

① 電源コードの接続

- 電源プラグは専用コンセントに差し込んでお使いください。

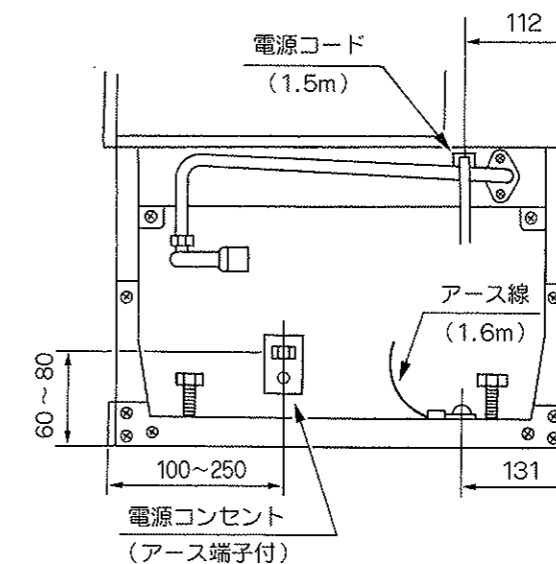
電 源	交流100V・50～60Hz共用	
消費電力	コンビネーションレンジ	GMO-S3700E型 1170W GMO-S3720E型
	ガス高速オープン	GR-S3700E型 90W

コンビネーションレンジタイプの電気容量は15A以上にしてください。



- 特に電子レンジとしてお使いの場合は、同一ブレーカー回路でトースターや電気炊飯器などの電熱機器を同時に使わないでください。
- テレビ、ラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ、ラジオなどを3m以上離してください。又、できるだけ別のブレーカー回路でお使いください。

- 電源コンセント（アース端子付）は、下図の位置（後壁部）に取り付けることをおすすめします。



[単位：mm]

[ご注意]

- 接続作業は必ず専門の係員におまかせください。
- 機器用コンセントはアース端子付きのものを推奨します。
- ビルトインコンロ側も100Vが必要なときは、オープンとは別にコンセントが必要になります。

② アースについて

- 万一の感電防止のためにアースを取り付けてお使いください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
- 次の場合は必ずD種接地工事（第3種工事）[接地抵抗100オーム以下]をするよう法律で義務づけられています。

- ※湿気の多い場所
  - うどん屋さん、そば屋さんなどのように水蒸気の充満した場所。
  - 土間、コンクリート床の場所。
  - 酒、しょうゆなどの醸造、または貯蔵する場所。

- ※水気のある場所
  - この場合は、漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
  - 魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所、その付近の水滴が飛散する場所。
  - 常に水が漏出したり結露する場所。

[ご注意]

アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。